

答申(部会長案・概要)

資料5 (別紙)

■ 三重の教育

三重県教育施策大綱や三重県教育ビジョンで三重の教育に関する施策の基本的な考え方や教育の目指す姿等が示されている

■ 現状と課題

- ◆中学校卒業者数の減少
- ◆通信制課程の生徒の増加
- ◆専門学科に通う生徒が多い
- ◆高校卒業後すぐに就職する生徒が多い
- ◆人口が県内全域に分散
- ◆学校施設の老朽化が著しい

■ 総論

子どもファースト

子どもたちに豊かな学びをどのように提供していくのかを第一の価値観に据えて考えることが必要

学び

子どもたちの多様なニーズに応える学びの選択肢を提供することが大切

規模配置

多様な価値観に触れることができ、多様な学びの選択肢を提供できる規模とすることや、自宅から通学可能な範囲に多様な学びを配置することが大切

■ 学びの在り方

これからの時代に求められる学びが提供できるなど魅力ある県立高校とするために、以下の取組を提案

(多様な学びの提供)

- ◆普通科のコースの充実
- ◆普通科と専門学科との併設
- ◆総合学科の設置

(県立ならではの取組)

- ◆学校間連携
- ◆遠隔授業の実施
- ◆県立校全ての生徒を対象とした体験型学習等の実施

(地域の企業との連携)

- ◆高校と地域企業との連携の推進

(学校単位の特徴化)

- ◆スクール・ミッション、スクール・ポリシーの充実
- ◆コミュニティ・スクール等の活用

(複数課程の設置)

- ◆複数の課程を一つの高校に設置し、課程間を柔軟に行き来する制度の導入

(学びを支える学校施設)

- ◆オープンスペースの設置

■ 規模及び配置の在り方

学校規模の考え方

多くの級友と交流し、多様な価値観に触れることが重要

一定の規模があることで多様な学びの選択肢の提供が可能

高校には一定の規模が必要

学校配置の考え方

人口が県内全域に分散

それぞれの地域において多様な学びの選択肢を維持

適正規模

1 学年 4 ～ 8 学級

※大学進学ニーズに応える学校は少なくとも1 学年 6 学級

※その学校のほかに通学が著しく困難な場合、県内唯一の学科、形態の場合には、やむを得ず 2・3 学級での配置もあり得る

通学条件

通学時間は、
おおむね90分以内
できれば60分以内